

GCM活動報告と予定

1. GCMの紹介
2. 活動報告
3. 活動予定

GCM会長 周藤安造

GCM研究会の設立趣旨

- GCM研究会は医療機関およびこれに関連する研究機関と広域的な連携をはかり、クラウドコンピューティングなどによる最先端技術をベースに医療情報システムICT化の研究・開発を進め、僻地まで含めた地域医療の発展と住民の健康・福祉に寄与することを目的として活動する。
- 本研究会はNPO法人広域連携医療福祉システム支援機構との連携により、その目的を達成するために次の事業を推進する。

主な事業

- (1) 研究会、分科会等の学術的会合を定期的
に開催し、産学連携により地域医療や健康福祉
に貢献する研究を進める。
- (2) 医療や福祉など臨床側と積極的に交流を図り、先端
ICT技術を駆使し、真に役立つシステムの実用化を
検討する。
- (3) 研修会開催や大学間交流などを支援し、学生をはじ
め幅広く医療・福祉にかかわる人材の育成を図る。
- (4) その他GCM発足の趣旨・目的を達成するために必
要な事業に取り組む。

25年度の活動報告(1)

(1) GCM11の開催

2014年4月24日(木)開催

テーマ“地域医療福祉貢献に向けた産学連携”

実行委員長 東海大学教授 高雄元晴氏

教育講演 「前腕部筋電位による人の手指の動作認識」 東海大学工学部教授 曲
谷一成氏

研究発表セッション：5件

研究室見学(高雄研究室、曲谷研究室) シンポジウム「地域医療福祉貢献に向けた
産学連携」で構成

(2) 第2回交流フォーラムの開催

26年11月4日開催

世話役：NPO副理事長 渡辺貞一氏

NPO「全国在宅医療推進協会」を招き、NPO間交流を行った。他に先端技術講
演として「バイオセンサ」(日本無線)とビッグデータの医療福祉応用として「つづ
やきSNS」(東芝ヘルスケア)が紹介された。今回は初めての参加者も多かったこと
もあり、最後に名刺交換により、参加者同士の交流を図った。

25年度の活動報告（2）

（3）NPO/GCM勉強会

2014年7月3日に立ち上げ、これまで2回開催した。分科会が縦割りの活動であるのに対し、本勉強会は横割りの活動であり、25年問題に向け医療福祉社会で要請の高いテーマについて柔軟に取り組む。

（4）品川区医師会との交流

2015年3月19日（木）に第1回目の交流を行った。酒寄副会長が対応された。

26年度活動計画

（1）GCM12の開催

柴田健雄実行委員長（東海大学）

（2）第3回交流フォーラムの開催

27年10頃開催予定

（3）25年問題への取組み

NPOとの連携強化

コンソシアムやプロジェクトの設立

（4）ホームページの充実

電子予稿集の発行など対外PRに努める